



2026年5月19日

各位

会社名 レイズネクスト株式会社
代表者名 代表取締役社長 毛利 照彦
(コード番号 6379 東証プライム市場)
問合せ先 経営企画部長 山本 宏成
(TEL045-415-1500)

(訂正)「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

2026年5月13日に開示いたしました「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」の記載内容の一部に訂正すべき箇所がございましたので、ここにお詫び申し上げますとともに、下記のとおりお知らせいたします。

なお、訂正箇所は下線を付して表示しております。また、数値データについては、訂正はございません。

記

1. 訂正理由

当該資料の作成過程における確認不足により、記載内容の一部に誤りがあることが判明いたしましたので、訂正いたします。

2. 訂正内容

「2026年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」添付資料5頁

1. 経営成績等の概況(4)今後の見通し

【誤】

次期(2027年3月期)につきましては、更なる賃上げやサービス価格の上昇などによるデフレ脱却が進み、景気が持ち直していくことが期待されますが、反面、社会的課題である人手不足や物価高による実質賃金の抑制など景気の下振れ要因もあり、引き続き不透明な状況が継続するものと考えております。

[省略]

引き続き日常保全工事、定期修理工事、改修工事など従来のメンテナンス工事の受注拡大に加え、閉鎖製油所の将来設備計画や検討段階からの積極的参入、建設工事までの対応や、一般化学、電子材料などの半導体に関わる高機能製品製造プラント、太陽光発電を始めとしたカーボンニュートラル案件など、事業環境の変化に対応した取り組みによる新規工事の受注確保に努めるとともに、2025年5月14日に開示いたしました「第3次中期経営計画の策定について」にて発表の通り、「RAIZNEXT X CHALLENGE」をテーマとし、従来のやり方にとらわれず、あらゆる変革に挑戦する期間と位置付けて、目標の達成を目指してまいります。

【正】

次期(2027年3月期)につきましては、足元の中東情勢など不安定な外部環境の影響や、人手不足、インフレの要因もあり、引き続き不透明な状況が継続するものと考えておりますが、経済安全保障や災害対応を背景とした、国内製造設備のメンテナンス需要は堅調に継続しております。

[省略]

引き続き既存拠点を軸とした、日常保全工事、定期修理工事、改修工事など従来のメンテナンス工事の受注拡大に加え、設備計画の検討段階からの積極的参入、建設工事までの対応や、一般化学、電子材料などの

半導体に関わる高機能製品製造プラント、カーボンニュートラル案件など、事業環境の変化に対応した取り組みによる新規工事の受注確保に努めるとともに、2026年5月13日に開示いたしました「第3次中期経営計画の見直しに関するお知らせ」にて発表の通り、新たな数値目標の達成に向け、既存事業の深化とさらなる成長機会への取組みを引き続き推進することで、持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

以 上